

2021年7月17日に大阪府で実施した寄鯨調査事業について (Y21-001)

2021年8月27日

指定鯨類科学調査法人/一般財団法人 日本鯨類研究所

一般社団法人 日本水族館協会

1. 調査の概要

2021年7月8日(木)、鯨の死体が大阪湾に流入しているとの情報を受け、大阪港湾局が航路安全上の理由により、堺泉北建設管理課所属の船舶を用いて、7月11日(日)に浮遊鯨体を阪南港の阪南第3号岸壁の南側(岸和田市地藏浜町)へ曳航し、その後、同地に鯨体を係留した。

7月12日(月)に大阪府環境農林水産部水産課からの依頼により、寄鯨調査事業として調査を実施することとなった。同日、下記の調査団が係留場所に赴き、鯨を確認した。7月17日(土)に大阪港湾局が鯨を係留地から堺7-3区(共生の森)に移動後、調査団が鯨体調査を実施した。

また、7月20日(火)に大阪市立自然史博物館が骨格を採集後に埋却処分とした。

2. 調査団構成 (下線は総括調査員)

日本鯨類研究所 田村・安永・茂越

太地町立くじら博物館 稲森・荻原・平松

神戸市立須磨水族園 馬場・古田・中村

*他に、調査・採集希望書を提出の上、大阪市立自然史博物館数名が立ち会った。

3. 当該鯨の情報 (Y21-001BR)

鯨種名 ニタリクジラ (形態学的特徴、DNA鑑定により鯨種確定)

体長 11.21メートル

体重 8.5トン (クレーンスケールの読取値)

性別 雄

4. 採集標本一覧

・表皮

・水晶体 (左)

*他に、調査・採集希望書を提出の上、大阪市立自然史博物館が全身骨格を採集した。

5. 調査の様子（写真）

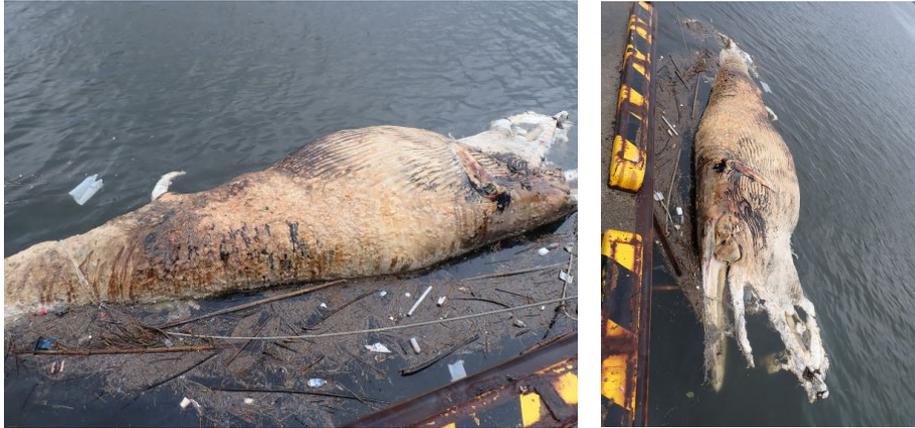


写真1. 7月12日 阪南港阪南第3号岸壁にて係留中の鯨体



写真2. 7月17日 阪南港阪南第3号岸壁から堺7-3区（共生の森）に移動、調査

本件に関する問い合わせは、
(一財) [日本鯨類研究所](http://www.yorikujira.jp) 田村 (090-3216-4594 ; yorikujira@i-cr.jp)
または、(一社)日本水族館協会 扶間 (080-8831-4010) まで